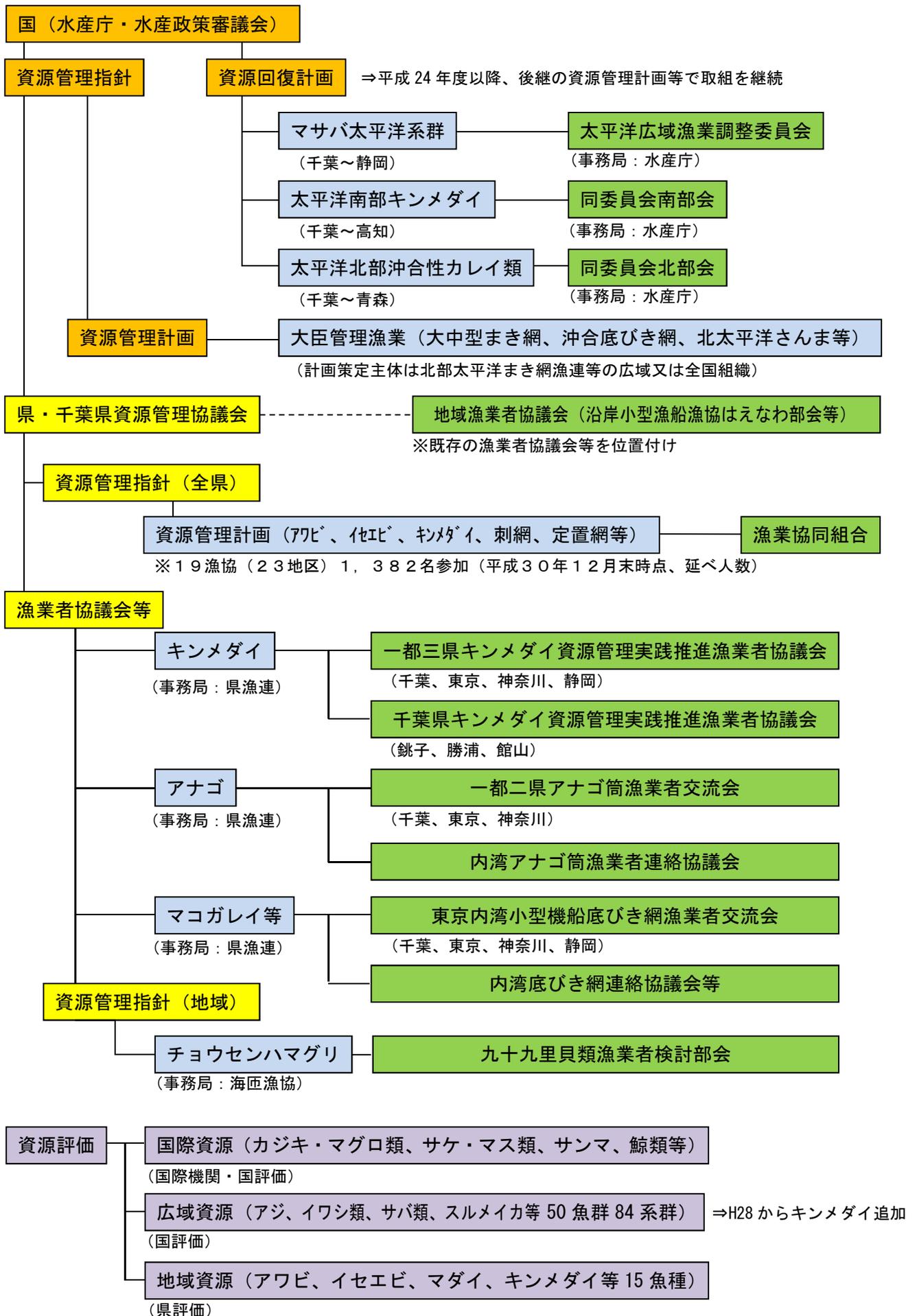


千葉県の資源管理型漁業推進体制の概要



平成30年度 千葉県資源評価対象種

1 評価対象種

キンメダイ、コノシロ、スズキ、ヒラメ、マコガレイ、マアナゴ、マダイ、アサリ、クロアワビ、メガイアワビ、サザエ、ダンベイキサゴ、チョウセンハマグリ、イセエビ及びマダコ（計15種）。

2 選定理由

資源評価対象種については、以下に示す「千葉県資源評価検討会議における資源評価基準」の「1 資源評価の対象とする水産資源の選定」の要件に基づき、下表のとおり選定した。

【資源評価基準による選定の要件】

- (1) 本県沿岸漁業の重要資源であること。
- (2) 既に資源管理計画や自主的な管理を含む資源管理の対象となるなど、資源管理の必要性が認識されていること。
- (3) 栽培漁業対象種や増殖場造成など、資源造成に係る取組が行われていること。
- (4) 資源評価に必要な漁獲統計情報及び生態的知見等があること。
- (5) 国際資源及び国の資源評価対象のうち回遊性の高い魚種は除く。

表1 平成30年度資源評価対象種一覧表

魚種	選定の要件					選定理由等	総合 ^{※4} 判断			
	(1) ^{※1}		(2) ^{※2} 資源管理	(3) 資源造成	(4) 資源評価情報		(5) 国評価対象	H 29	H 30	
	生産量 (トン)	金額 (百万円)								
キンメダイ	1,453	2,663	県指針・計画 地域計画(広域)		漁場 ごとの CPUE	○ ^{※3}	(1)、(2)、 (4)に該当	○	○	
コノシロ	1,146	80	県指針・計画(漁業)		漁獲量	×	(1)、(2)、 (4)に該当	○	○	
スズキ	1,696	785	県指針・計画(漁業)		標本船 CPUE	×	(1)、(2)、 (4)に該当	○	○	
ヒラメ・カレイ類	ヒラメ	464	481	県指針・計画(漁業) 地域計画(広域)	種苗放流	資源量	×	(1)～(4)に 該当	○	○
	マコガレイ	246	258	県指針・計画(漁業)	種苗放流	標本船 CPUE	×	(1)～(4)に 該当	○	○
マアナゴ	83	89	県指針・計画(漁業) 地域計画(地域)		標本船 CPUE	×	(1)、(2)、 (4)に該当	○	○	
マダイ	403	210	県指針・計画(漁業) 地域計画(広域)	種苗放流	漁獲量	×	(1)～(4)に 該当	○	○	
アサリ	412	222	県指針・計画(漁業) 地域計画(地域)	種苗放流	資源量	×	(1)～(4)に 該当	○	○	
アワビ類	クロアワビ	66	660	県指針・計画 地域計画(地先)	種苗放流 増殖場	CPUE	×	(1)～(4)に 該当	○	○
	メガイアワビ	32	198	県指針・計画 地域計画(地先)	種苗放流 増殖場	CPUE	×	(1)～(4)に 該当	○	○
サザエ	271	237	県指針・計画(漁業) 地域計画(地先)	母貝放流	CPUE	×	(1)～(4)該 当	○	○	
ダンベイキサゴ	147	161	地域計画(地域)	種苗放流	漁獲量	×	(1)、(4)に 該当	○	○	
チョウセンハマグリ	1,407	1,701	地域計画(地域)	種苗放流	漁獲量	×	(1)～、(4) に該当	○	○	

魚種	選定の要件					選定理由等	総合 ^{※4} 判断		
	(1) ^{※1}		(2) ^{※2} 資源管理	(3) 資源造成	(4) 資源評価情報		(5) 国評価対象	H 29	H 30
	生産量 (トン)	金額 (百万円)							
イセエビ	180	1,001	県指針・計画 地域計画(地先)	増殖場	CPUE	×	(1)～(4)に 該当	○	○
マダコ	261	154	県指針		漁獲量	×	(1)、(2)、 (4)に該当	○	○

表2 平成31年度以降資源評価の実施を検討する魚種一覧表

魚種	選定の要件					選定理由等	総合 ^{※4} 判断		
	(1) ^{※1}		(2) ^{※2} 資源管理	(3) 資源造成	(4) 資源評価情報		(5) 国評価対象	H 29	H 30
	生産量 (トン)	金額 (百万円)							
ホンビノスガイ	2,560	336	県指針・計画(漁業) 地域計画(地域)		漁獲量	×	(1)に該当 (4)に不足 情報の追加検討中	×	△

表3 平成30年度資源評価の実施について検討したが見送った魚種一覧表

魚種	選定の要件					選定理由等	総合 ^{※4} 判断		
	(1) ^{※1}		(2) ^{※2} 資源管理	(3) 資源造成	(4) 資源評価情報		(5) 国評価対象	H 29	H 30
	生産量 (トン)	金額 (百万円)							
イサキ	130	78			漁獲量	×	(1)に該当 (4)に不足 情報の追加検討中	×	×
サワラ	272	287	県指針・計画(漁業)		漁獲量	×	(1)、(2)に該当 (4)に不足 情報の追加検討中	×	×
タイ類	クロダイ	49	94		漁獲量	×	(4)に不足 情報の追加検討中	×	×
	チダイ	342	81	県指針・計画(漁業)	漁獲量	×	(2)に該当 (4)に不足 情報の追加検討中	×	×
タチウオ	284	390			漁獲量	×	(1)に該当 (4)に不足 情報の追加検討中	×	×
サトウガイ	0	0	地域計画(地域)		漁獲量	×	(2)に該当 (4)に不足 情報の追加検討中	×	×
パイ	2	1		試験放流	漁獲量	×	(4)に不足 情報の追加検討中	×	×
クルマエビ	1	8	地域計画(地域)	種苗放流	漁獲量	×	(3)に該当 (4)に不足 情報の追加検討中	×	×

注 (表1～3共通)

※1 (1)漁獲情報(トン、百万円)は主に H28 農林水産統計年報、キンメダイ(金額は推定値)・ホンビノスガイ・アワビ類(クロアワビ、メガイアワビ)、九十九里貝類(サトウガイ、チョウセンハマグリ及びダンベイキサゴ)・パイは H28 県調べ

※2 (2)資源管理の「県指針・計画」は県資源管理指針(以下、「県指針」という)及び県指針による資源管理計画、「地域計画」は前述の計画以外での自主的な資源管理の計画等(非明文含む)を指す。計画の各範囲は「(漁業)」は、県指針で魚種別又は漁業種類別のいずれかの対象となっているが、計画では漁業種類別の対象となっているものを指す。「(広域)」は、千葉県含む複数県で、「(地域)」は県内全域又は一部地域で、「(地先)」は各漁協等の計画等で資源管理が行われているもの。

※3 キンメダイは平成28年度から国による資源評価が実施されているが、回遊の範囲が限定的であることから引き続き県においても各漁場での資源評価を行う。

※4 総合判断:○実施、△次年度以降の実施を検討、×当面実施しない

平成30年度の資源評価結果

平成30年度沿岸水産資源の資源評価を行うに当たって資源評価検討会議（以下「検討会議」という。）を2回開催しました。検討会議においては、資源評価基準及び資源評価対象種について検討し、資源評価対象種として昨年度対象だったキンメダイ、コノシロ、スズキ、ヒラメ、マコガレイ、マアナゴ、マダイ、アサリ（非公表）、アワビ類（クロアワビ及びメガイアワビ）、サザエ、ダンベイキサゴ、チョウセンハマグリ、イセエビ及びマダコの計15魚種の資源評価を実施しました。各魚種の資源評価結果の概要は以下のとおりです。

資源評価結果の概要（資源水準及び資源動向のカッコ内は平成29年度の結果）

対象魚種	資源水準	資源動向
キンメダイ	銚子沖：中位（中位） 勝浦沖：中位（低位） 東京湾口：中位（高位）	銚子沖：増加（増加） 勝浦沖：横ばい（横ばい） 東京湾口：増加（増加）
コノシロ	低位（高位）	減少（横ばい）
スズキ	中位（中位）	減少（横ばい）
ヒラメ	高位（高位）	横ばい（増加）
マコガレイ（東京湾）	低位（中位）	減少（減少）
マアナゴ	東京湾：低位（低位） 銚子・九十九里：中位（高位）	東京湾：不明（増加） 銚子・九十九里：減少（減少）
マダイ	高位（高位）	増加（増加）
クロアワビ	高位（高位）	横ばい（横ばい）
メガイアワビ	中位（中位）	増加（増加）
サザエ	高位（中位）	横ばい（横ばい）
ダンベイキサゴ	中位（中位）	増加（増加）
チョウセンハマグリ	高位（高位）	減少（横ばい）
イセエビ	中位（中位）	横ばい（横ばい）
マダコ	高位（高位）	横ばい（横ばい）